

(4)「施設間の連携に強い看護師養成プログラムの実践報告」

井川順子(京都大学医学部附属病院看護部長兼キャリア支援センター長)

(5)「認知症疾患専門病院で看護師を育てる～地域循環型の看護実践～」

梶山倫子(横浜メディカルグループ医療法人三星会かわさき記念病院看護部長)

9. EHR(Electronic Health Record)の現状と未来

座長：三角隆彦(済生会横浜市東部病院院長)

(1)「医療圏をカバーするEHRについて」

金子周一(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科情報医学開発講座特任教授)

(2)「厚生労働省が進める全国的に電子カルテ情報を交換・共有する仕組みなどの現状と今後について」

島井 健一郎(厚生労働省医政局研究開発振興課医療情報技術推進室室長補佐)

(3)「都市部におけるEHRの考え方の現状と今後の神奈川県医療政策について」

山田健司(神奈川県健康医療局長)

(4)「全国のEHRの現状と利活用状況について」

横田 元(株式会社ヘルスケアレイシヨンス取締役副社長)

(5)「医療高度化に資するPHRデータ流通基盤構築」

山崎 敬太郎(総務省情報流通行政局地域通信振興課デジタル経済推進室課長補佐)

10. 医療安全管理者のキャリアを考える

座長：坂本すが(東京医療保健大学副学長)

玉井 洋太郎(医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院血液内科部長)

(1)「医師・医療安全管理者のキャリア(仮)」

兼児敏浩(三重大学医学部附属病院医療安全管理部教授)

(2)「医療安全管理者の継続と交替を考える(仮)」

荒井有美(北里大学病院医療の質・安全推進室副室長/医療安全管理者)

(3)「医療安全管理者の経験とその後のキャリア(仮)」

遠田光子(公益財団法人日本医療機能評価機構)

(4)「医療安全管理者の経験は看護管理にどう活かせるか(仮)」

加戸聖美(近畿大学附属病院副看護部長)

11. 働き方改革とクリティカルパス～それぞれの立場から～

座長：勝尾信一(特定医療法人千寿会つくし野病院名誉院長)

塩澤実香(社会医療法人財団慈泉会相澤病院看護部主任)

(1)「看護の立場から(仮)」

小野律子(大阪警察病院看護部総合情報システム担当師長)

(2)「医師事務作業補助者の役割(仮)」

杉 和洋(国立病院機構熊本医療センター診療部長)

(3)「医師の立場から(仮)」

伊藤淳二(青森県立中央病院整形外科部長)

(4)「管理者の立場から(仮)」

野村一俊(医療法人朝日野会朝日野総合病院病院長)

12. 新型コロナ感染症が地域医療連携にもたらした影響

～これからの地域医療介護連携のあるべき姿とは～

座長：中村起也(広南病院脳神経内科医師/医療福祉連携士4期生)

我妻正子(あい薬局居宅介護支援事業部/医療福祉連携士4期生)

(1)「行政の立場から(仮)」

堤 雅宣(厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室長)

(2)「医師の立場から(仮)」

中村 ゆかり(医療法人社団東山会調布東山病院副院長・地域医療連携室長)

(3)「看護師の立場から(仮)」

井上 ふみ子(川崎市立多摩病院看護部長/医療福祉連携士1期生)

(4)「MSWの立場から(仮)」

久田葉子(がん・感染症センター都立駒込病院患者サポートセンター/医療福祉連携士10期生)

(5)「事務の立場から(仮)」

伊藤竜彦(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命救急センター事務/医療福祉連携士8期生)

(6)「医療福祉連携講習会について」

大久保 一郎(横浜市衛生研究所所長医療福祉連携講習会実行委員)

13. 多職種連携を今一度考える～本当にできている

のか、そのためのマネジメントとは～

座長：折井孝男(東京医療保健大学)

村岡修子(NTT東日本関東病院看護部副看護部長)

(1)基調講演：「多職種連携を考える(行政の立場から)(仮)」

中井清人(厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長)